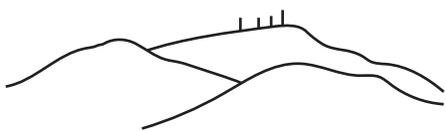


Youth Manna

2020/2/3 - 2/9



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/2/3(月)

ピリピ 2:1-11

昨日の箇所、キリストの福音にふさわしく生活しなさいというみことばがあったね(1:27)。

そのために私たちが心に留めるべきことは、5節のことばだ。これは「キリストの心をあなたの心とせよ」というふうに訳されることばでもあるよ！

私たちの生き方は、私たちの心に満ちているものを反映します。今あなたの心に満ちているものは何だろう？今朝、まず自分の心の真ん中にイエス様をお迎えすることから始めよう！！6-11節は当時歌われていた賛美の歌詞です。イエス様の姿を黙想し、イエス様の生き方にならいきましょう！！

2020/2/4(火)

ピリピ 2:12-30

神様は私達に救われるだけでなく、救いを達成するために努力するように願っています(12)それはいのちの言葉をにぎって神様に従い続けることで神様の子どもとして輝き、人々に祝福を流すこととなります(16)

パウロがピリピの教会にテモテやエパフロデトを送り教会を励まそうとしたように、私達の救いの達成は、教会、神の家族との愛の関係の中と神様に従い続けることで成長し達成されます。考えよう！！あなたは救いが達成されるためにどんなことが出来るだろう??

2020/2/5(水)

ピリピ 3:1-11

「最後に、私の兄弟たち、主にあって喜びなさい。」パウロは、ピリピの教会が、悪い働き人や、偽教師から守られるため、彼らの安全のため、このことを勧めます。また、パウロは、自分のユダヤ人としての誇りをあえて語ります。しかし、彼はキリストによって救われたので、それらは損なこと、「ちりあくた」と考えています。キリストを知って、義を与えられたパウロは、ピリピの兄弟たちにも、キリストによる素晴らしい救いを感謝し、喜びをもってキリストに倣う者になってほしいと願っています。

イエス様を知ることが求めます。今日の一日を通して、主にあって喜ぶことがどういうことなのか、教えてください。主にあって喜ぶものとさせてください。

2020/2/6(木)

ピリピ 3:12-21

今日は17節に注目しよう！パウロは自分たちを手本としている人たちに、「敵」となってしまった多くの人々から離れることを願っている。敵は自分の欲望を追求し、不道德な行いをし、キリストの十字架の救いに反対するので必ず滅びる。これは、私たちは見るもの聞くものから影響を受け、特には目に入ってくるものから影響を受けるものだからこそ、罪から離れるように言っている。キリストを知り、信じる者として歩んでいるだろうか？聖書にあった価値観、選びをして歩もう！祈ろう！！

今日はフナの日

2020/2/7(金)

ピリピ 4:1-9

3つのことがすすめられているね。

- ①主にあって堅く立つ
1~3章でイエス様の姿と、救われたパウロの真剣さや必死な思いを見てきたね。国籍を天に持つ者として、考えて行動しよう。
- ②主にあって喜び
私たちの名前が天に書き記されていることを喜ぼう！このことは、どんな状況にあっても変わらないことだね。そして感謝をもって神様に祈り願おう。
- ③心に留めて行う
スマホやテレビや会話から、悪口や嫌な情報は直ぐに入ってくるかもしれない。でもむしろ、良いことを意識して探し忘れないようにしましょう。そして御言葉を祈り行おう。その時、君がいる場所が辛くても平和の神様が一緒にいてくれるよ。感謝の祈りから今日をスタートしよう！

2020/2/8(土)

ピリピ 4:10-23

今日はピリピの最後の箇所！

ピリピの教会がパウロに対して示した愛や、助けをパウロは素直に喜び、感謝しているね。でも、それはパウロが乏しかったからではないんだ。パウロはどんな時も主にあって立ち、満足することを学んでいた。だからパウロは物質的な助け以上に、ピリピの教会の人たちが苦難を分け合ってくれたこと、霊的な口座に実が加えられていることをとても喜んでいただんだ。イエス様が「天に宝を積むように」と言われていたことを実践していたんだね。

私たちは普段、目に見えるもので満足しようとしていないかな？今、神の家族にどんな助けができるかな？それは天に宝を積む一歩になる！考えて実践しよう！

2020/2/9(日)

レビ 13:1-28

ツアラアトという重い皮膚の病気にかかった人は、祭司がきよいと宣言するまでは隔離をされたままで、病気から回復した人が神様に近づくためにはいくつもの過程をすこさなければなりません。

ここでは、「きよい」という言葉が多く使われており、私たちの目に良い悪いと見えるかではなく、神様から見てきよいか汚れているかが判断の基準となっていました。神様のきよさには少しの妥協も許されませんでした。

わたしたちの歩みをみて、神様はどう思っておられるでしょうか。神様は私たちがきよく生きることを願っておられます。そのみこころを思い巡らし、きよく歩むことができるように祈ろう！

マタイ 8:3 を読もう！イエス様のもとに行くことこそ、きよく歩む道です！！